

# 1 北奥・北海道地域における古代防御性集落の発生と展開

三 浦 圭 介

---

はじめに

- |                             |                                  |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 研究略史                      | 4 防御性集落諸形態の年代観                   |
| 2 北奥・道南地域の古代の歴史的背景と防御性集落の分布 | 5 防御性集落と「戦闘性」を伝える文献との年代的な整合性について |
| 3 古代防御性集落の諸形態と個別遺跡の実態       | 6 防御性集落の背景と課題                    |
- 

## 論文要旨

北奥地域を中心に発見され注目されてきた古代防御性集落は、近年北海道道南地域においても検出され始めており、本稿ではこの種の遺跡が分布する全域での考察を行った。

古代防御性集落は、形態的には、集落の主要な数軒のみを区画する上北型と、集落全体を囲郭する津軽型があるが、この二つはさらにいくつかのタイプに細分できる。年代的には、遺物から推定できるものはすべて10世紀中葉から11世紀後半までの間に位置づけられ、防御的施設は、11世紀後半に中奥で築造された前九年・後三年役関係の柵遺跡に類似した内容を持つ。この時期の社会不安の影響が考えられるが、一方この時期は津軽平野の本格的な開拓期でもあり、今後の課題は多い。